

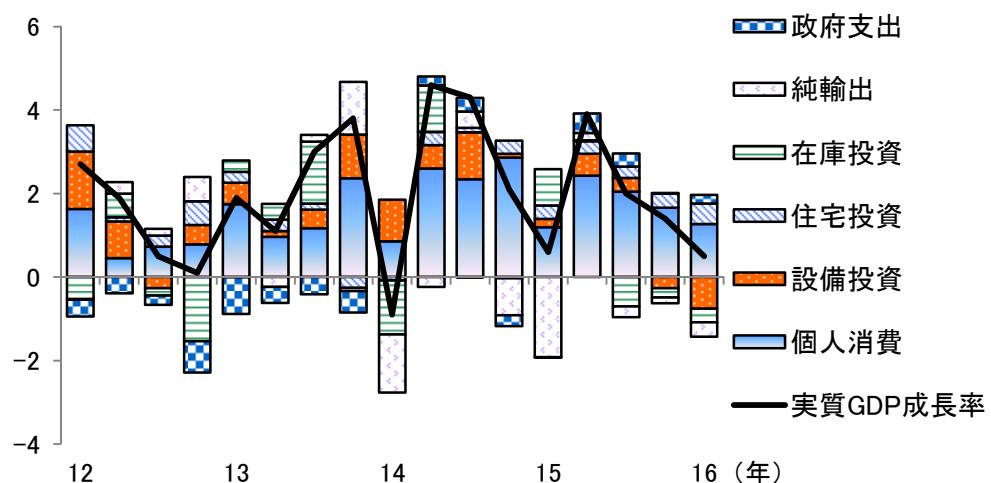
## アメリカ経済グラフポケット (2016年5月号)

2016年5月9日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター  
エコノミスト 橋本 政彦

## 実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)

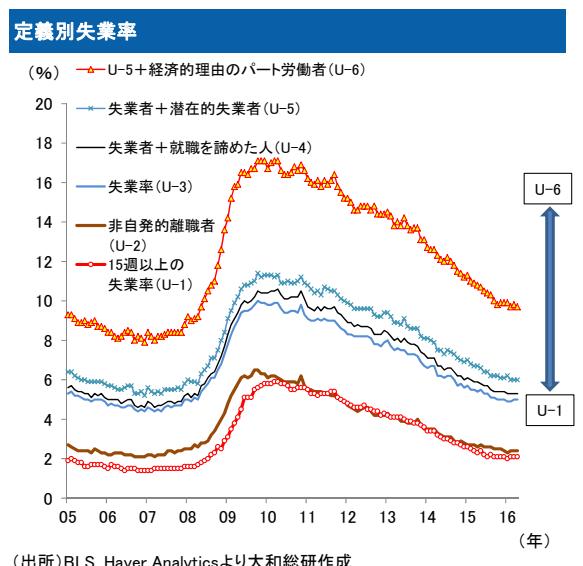
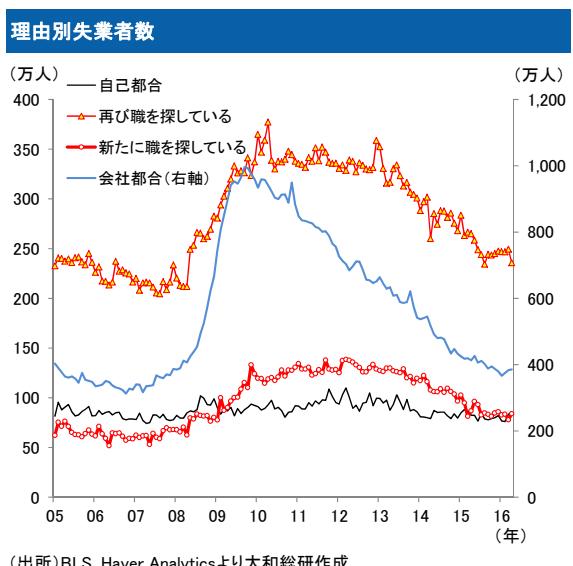
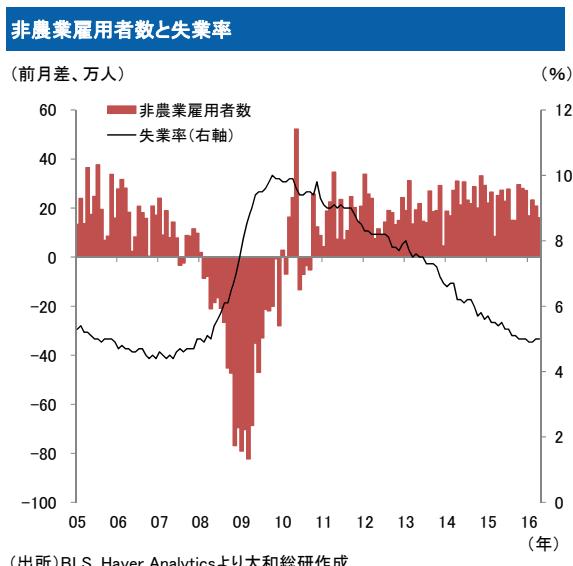


(前期比年率、%、%pt)	2014			2015				2016
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
国内総生産	4.6	4.3	2.1	0.6	3.9	2.0	1.4	0.5
個人消費	3.8	3.5	4.3	1.8	3.6	3.0	2.4	1.9
設備投資	4.4	9.0	0.7	1.6	4.1	2.6	-2.1	-5.9
住宅投資	10.4	3.4	10.0	10.1	9.3	8.2	10.1	14.8
政府支出	1.2	1.8	-1.4	-0.1	2.6	1.8	0.1	1.2
輸出	9.8	1.8	5.4	-6.0	5.1	0.7	-2.0	-2.6
輸入	9.6	-0.8	10.3	7.1	3.0	2.3	-0.7	0.2
寄与度								
個人消費	2.6	2.3	2.9	1.2	2.4	2.0	1.7	1.3
設備投資	0.6	1.1	0.1	0.2	0.5	0.3	-0.3	-0.8
住宅投資	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5
在庫投資	1.1	0.0	0.0	0.9	0.0	-0.7	-0.2	-0.3
政府支出	0.2	0.3	-0.3	0.0	0.5	0.3	0.0	0.2
輸出	1.3	0.2	0.7	-0.8	0.6	0.1	-0.3	-0.3
輸入	-1.5	0.2	-1.6	-1.1	-0.5	-0.4	0.1	0.0

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

## 雇用環境<sup>1</sup>

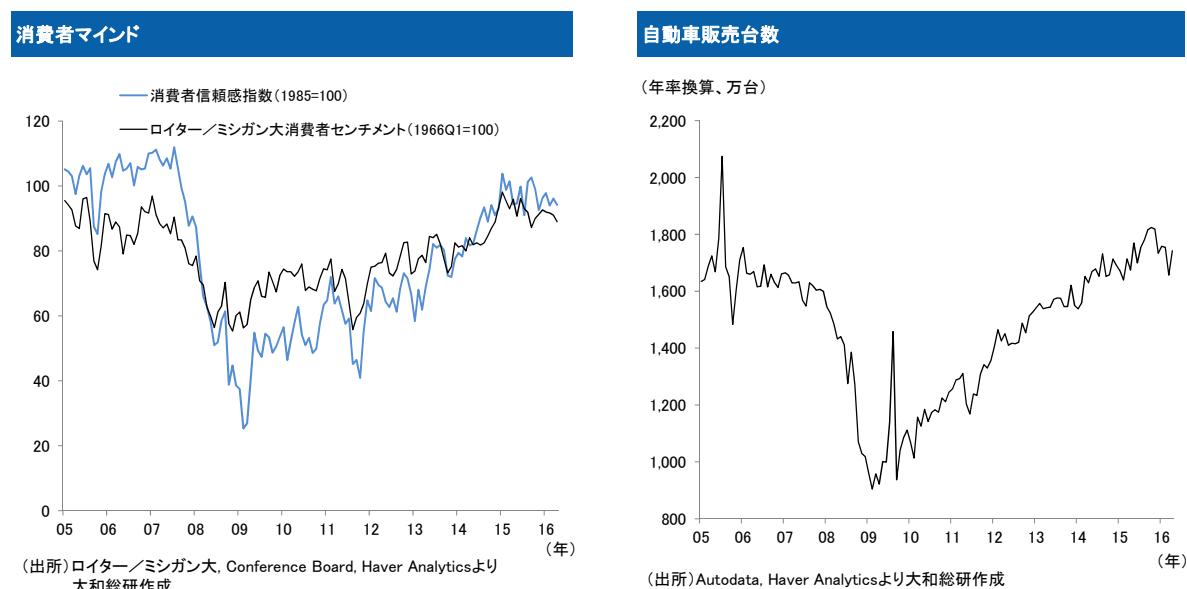
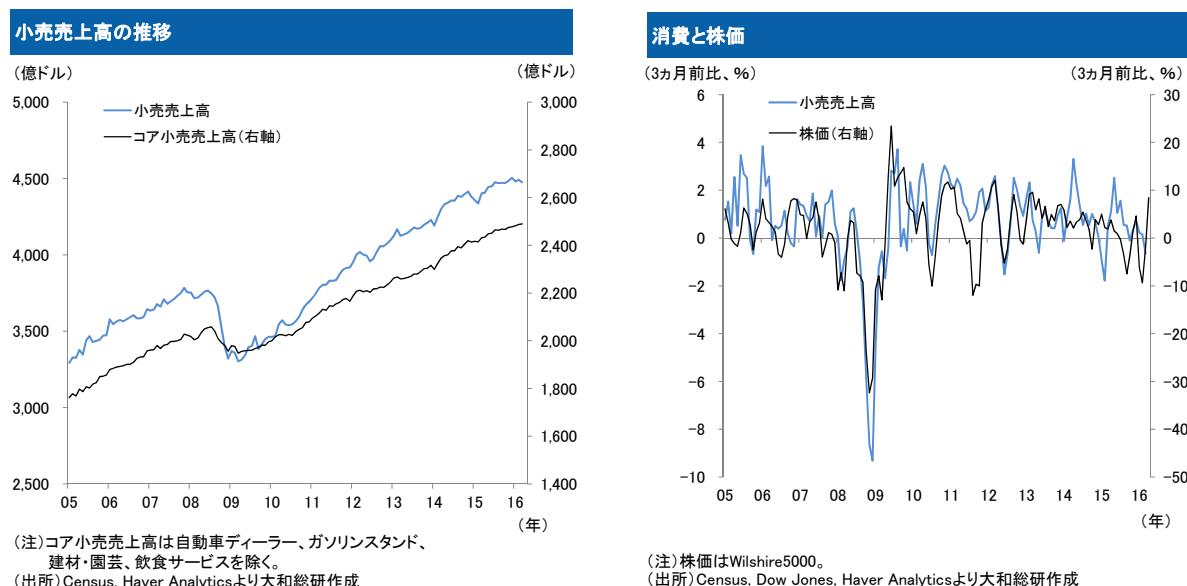
- ◆ 2016年4月の失業率は5.0%となり、前月から横ばいとなった。失業者数は前月から減少したもの、労働参加率が前月から低下し、就業者数は7ヵ月ぶりの減少に転じた。
- ◆ 4月の非農業雇用者数の前月差は16.0万人増となった。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は22.0万人増であった。



<sup>1</sup> 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「消費の減速が雇用者数を下押し」（2016年5月9日）  
参照。[http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20160509\\_010872.html](http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20160509_010872.html)

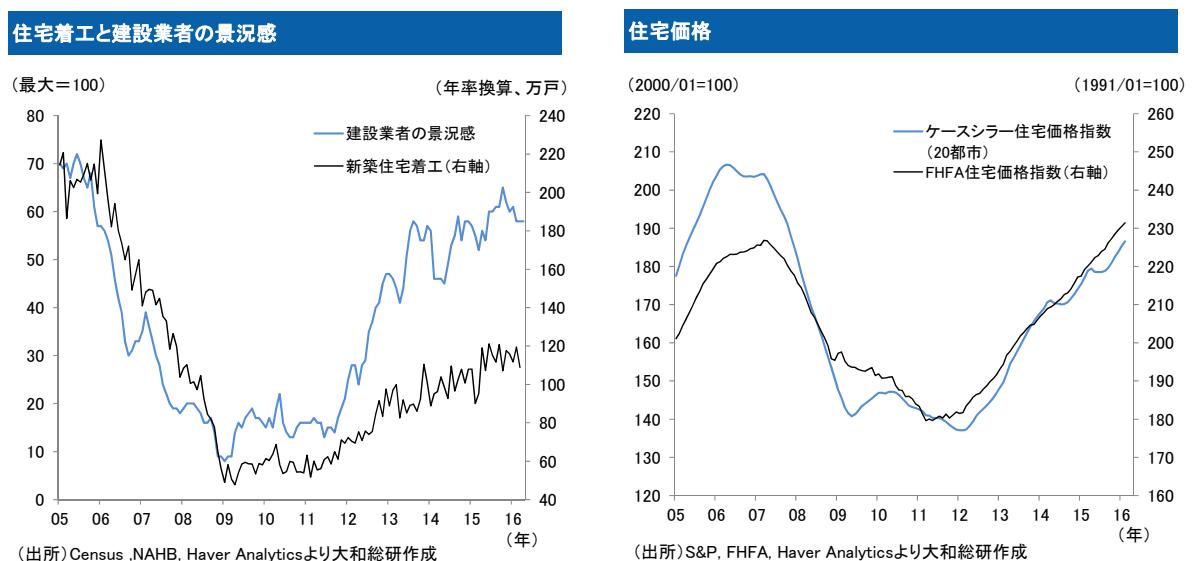
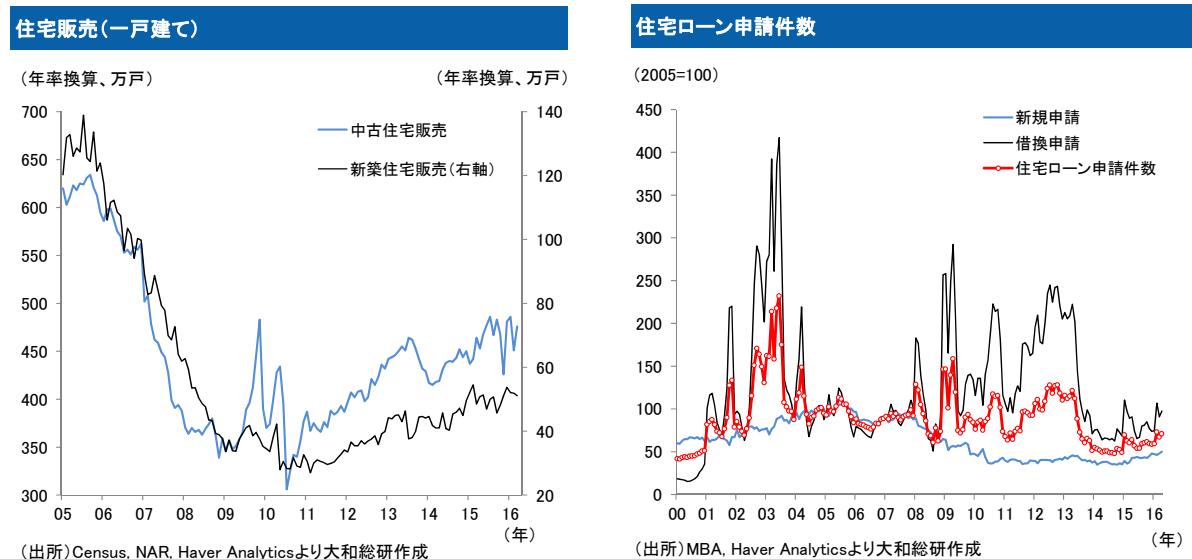
## 個人消費

- ◆ 2016年3月の小売売上高は前月比0.4%減少した。一方、コア小売売上高は同0.1%と、5ヶ月連続で増加した。
- ◆ 4月の自動車販売台数は前月比5.1%増加し、年率換算で1,742万台であった。とりわけライトトラックの大幅な増加が押し上げ要因となり、3ヶ月ぶりの増加に転じた。
- ◆ 4月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の91.0から89.0へと低下した。現況指数が前月から改善する一方で期待指数が低下し、4ヶ月連続の低下となった。



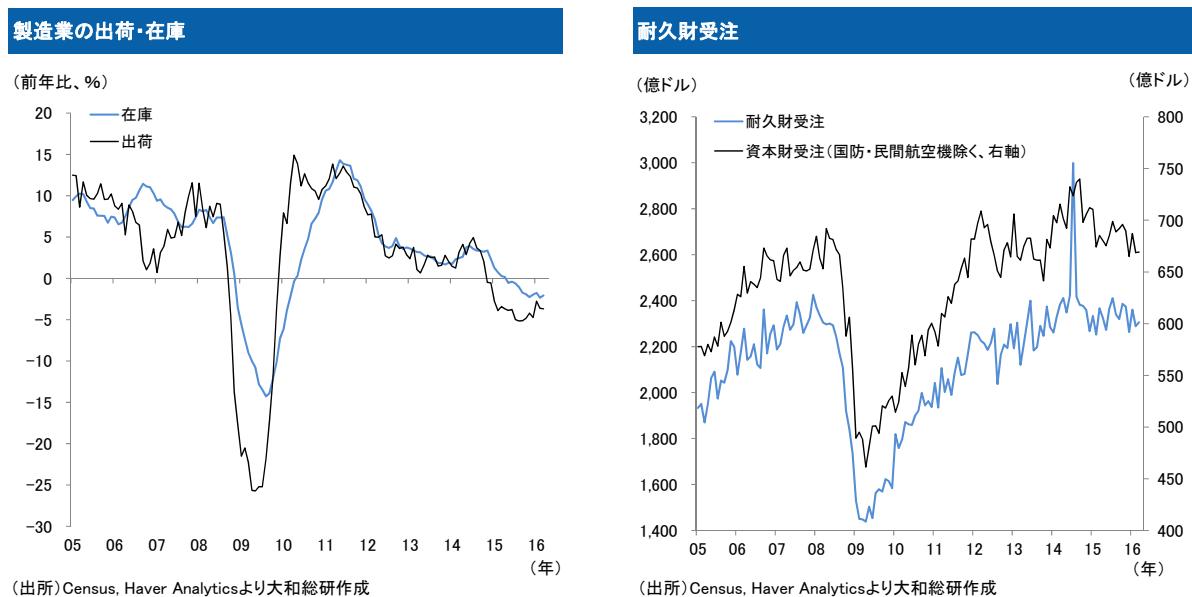
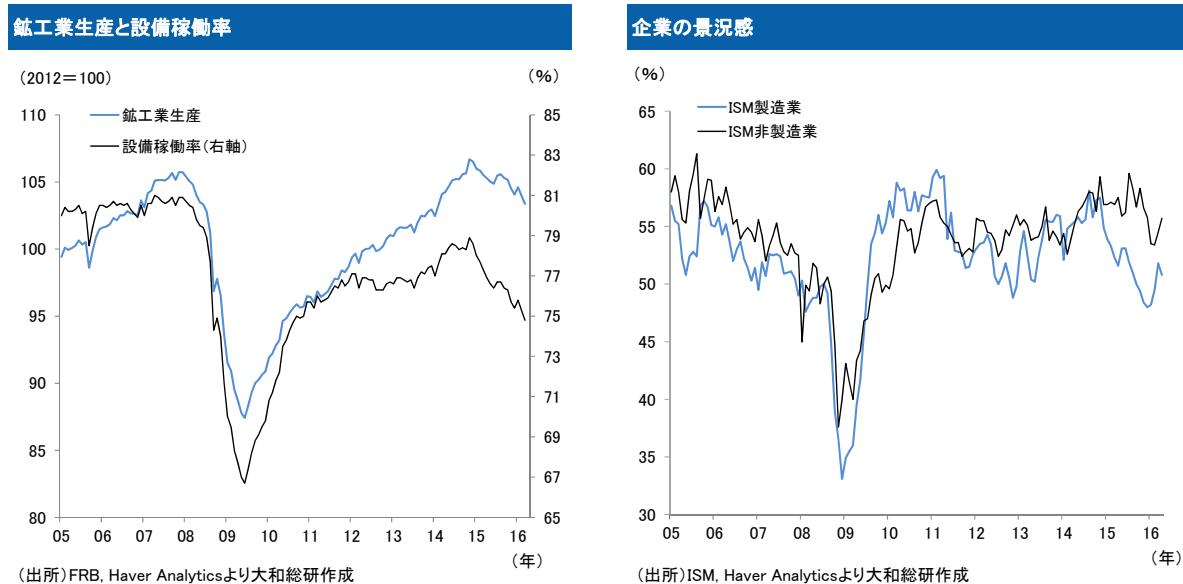
## 住宅市場

- ◆ 2016年3月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比8.8%減の年率換算108.9万戸であった。
- ◆ 3月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比5.5%増の年率換算476万戸となった。
- ◆ 3月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比1.5%減と3ヵ月連続で減少し、年率換算51.1万戸となった。
- ◆ 2月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は前月比0.7%上昇した。



## 企業動向

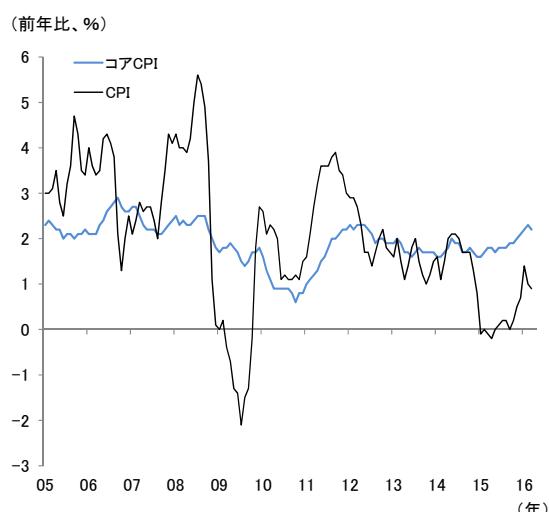
- ◆ 2016年3月の鉱工業生産指数は前月比0.6%低下し、2ヵ月連続の低下となった。指数全体の約7割を占める製造業（SICベース）は同0.3%低下した。
- ◆ 3月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は、前月比0.1%増と2ヵ月ぶりに増加した。
- ◆ 4月のISM製造業指数は、前月差1.0%ポイント低下の50.8%と4ヵ月ぶりに低下したが、基準となる50%を2ヵ月連続で上回った。非製造業指数は、前月から1.2%ポイント上昇し、55.7%であった。



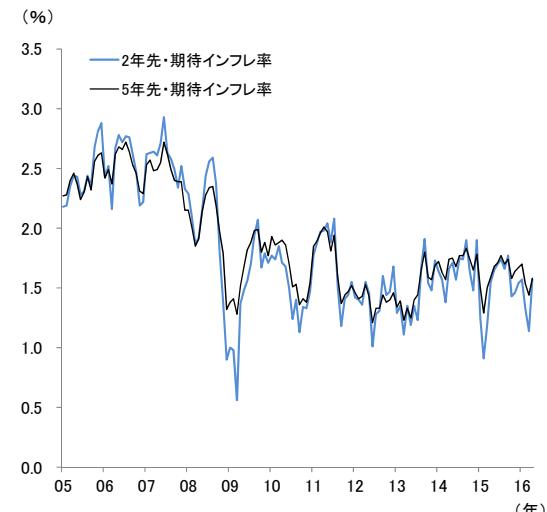
## 物価動向

- ◆ 2016年3月のCPI（消費者物価指数）は前年比0.9%上昇と、上昇幅が前月から縮小した。また、コアCPIも同2.2%上昇と、前月から上昇幅が縮小した。
- ◆ 4月の2年先期待インフレ率は1.57%、5年先期待インフレ率は1.58%であり、いずれも前月から上昇した。
- ◆ 4月末のWTI原油先物価格は45.92ドル/バレルと、3月末の38.34ドル/バレルから上昇した。

### 消費者物価指数



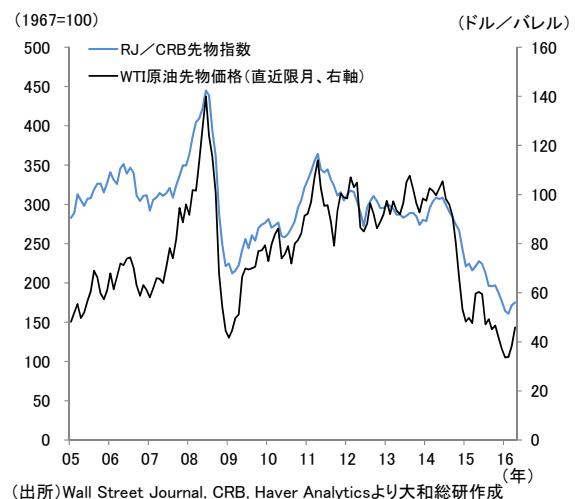
### 期待インフレ率



### 実効為替レート(ブロード)

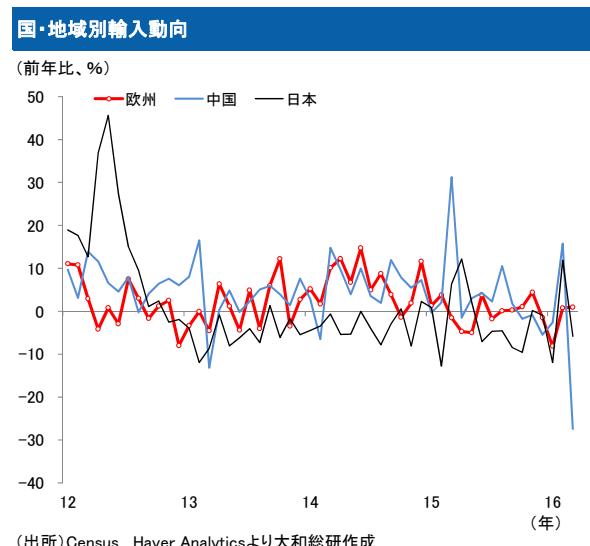
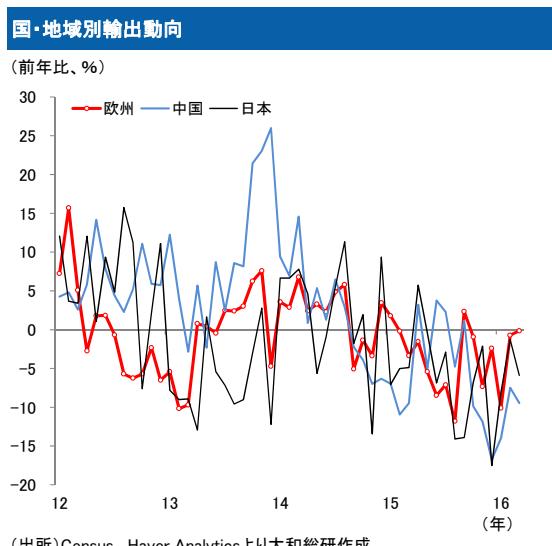
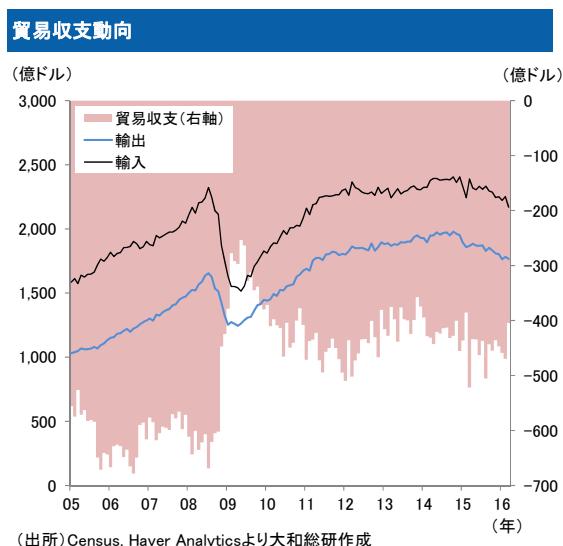


### コモディティ価格



## 輸出入・経常収支

- ◆ 2016年3月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比0.9%減少し、輸入も同3.6%減少した。この結果、貿易赤字は前月から13.9%縮小し、約404億ドルとなった。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では医薬品などの消費財が減少したほか、自動車・同部品、工業用品が減少した。一方の輸入は幅広い品目が減少する中、とりわけ消費財の減少が全体を下押しした。
- ◆ 地域別（財）では、欧州への輸出が前年比0.1%減少、中国向けが同9.5%減少、日本向けも同5.9%減少した。輸入は、欧州からの輸入が同0.9%増加したものの、中国からの輸入が同27.4%減少、日本からの輸入は同5.8%減少した。



## 金融・財政

- ◆ 2016年4月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジは据え置かれた。また、保有する資産規模については、現在の水準を維持することが決定された。FRBの資産残高は、直近の5月4日の週平均が約4兆5,200億ドルであった。
- ◆ 4月の長期金利（10年債利回り）の平均値は1.81%となった。均せば4月初旬から上昇傾向にあったものの、月末に低下したことで月次ベースでは前月から低下した。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12カ月平均）は、トレンドとして緩やかに赤字幅が縮小している。

